

令和5年度 学校関係者評価書

学校名	北海道苫小牧東高等学校(定時制)
-----	------------------

組織名	学校評議員
	評 価 者
	学校評議員5名

1 本年度の重点目標

- 1 わかる授業を推進し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る
- 2 教育相談活動の充実を図り、生徒理解に立った生徒指導を実践する

重点目標の適切さ	実態に即した重点目標で適切である。
----------	-------------------

2 自己評価結果

大項目	評価項目・指標等 小項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
学校経営	本校に入学して良かったと思わせる学校生活を送らせることができた	B	B	不登校の経験や対人関係の形成に不安を抱いたまま入学する生徒が多い中、生徒一人ひとりが、安心して通学し学ぶ喜びを実感できるよう、職員と連携・協働の強化を推進し、職員の参画意識を更に向上させる。	A	B	A
	学校の雰囲気をよくし皆で明るく楽しい生活を送らせることができた	B	B				
	先生方は協力し合って、学習活動や行事の運営をすることができた	B	B				
	校舎・施設について学習活動や行事に支障のないよう管理・準備できた	A	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒・保護者が入学して良かったと思っていると思うので、引き続き、学校に来ることが楽しいと感じる学校生活をさせて欲しい。 ・生徒が安心・安全に学校生活が送れるよう、先生方が熱心に係わり取り組まれていることと感じている。今後も継続して取り組まれることを願う。 ・教職員の協働体制、外部機関との連携を一層強化し推進されることを願う。 ・職員同どうしの連携をしっかりとって一丸となって推進する。 						
学習指導	生徒にわかりやすい授業を展開することができた	B	A	生徒の実態に則した分かる授業を工夫し、自ら学ぶ力の定着を図ると共に、対話的な学びの場を増やし、自分の気持ちや考えを伝え合う力の育成を図る。	A	A	A
	生徒にとって内容や進度が満足いく授業を展開することができた	B	B				
	生徒をまじめに授業に取り組ませることができた	B	B				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出て恥ずかしくない生活を送ることができるよう、しっかりと基礎学力と学ぶことに対する主体性を養わせて欲しい。 ・生徒一人ひとりの学力・理解度に合わせた個別指導の工夫をし基礎学力の定着を図って欲しい。 ・向学心を育てるため努力されている。 						
進路指導	進路に関する必要な情報を生徒に十分提供することができた	B	B	4年間を見通した、段階的・系統的な進路指導により、早期からの進路意識の高揚と進路実現に努めると共に、企業や地域との連携を深め、インターンシップなどの更なる充実を図る。	A	A	A
	進路に関する適切なアドバイスをすることができた	A	B				
	生徒と進路に関しての面談をよくおこなうことができた	B	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しい実態ではあるが、引き続き進路意識の高揚に努めていただきたい。 ・生徒の進路希望・実現に向け、インターンシップや協働体験を通して、細やかにふりかえり、自己評価ができるようになって欲しい。次の目標達成につながり、進路意識を高めることを願う。 ・早期進路選択ができるよう情報提供の工夫を願う。 ・生徒の未来を希望あるものにしてほしい。 						
生活指導・保健関係	生徒の悩み事を聞き、親身になって相談にのってやる事ができた	A	A	個人面談の実施により教育相談体制の充実を図り、校内外で規律ある生活を送ることができるよう指導する。いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応により、いじめの未然防止及び早期発見・対応を図る。	A	A	A
	生徒に規則などの学校のきまりをおおむね納得させることができた	B	A				
	生活指導やいじめ対応について、生徒に適切だと思わせる指導ができた	B	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活が円滑にできるよう、基本的な生活習慣の定着と、人間関係作りを養わせて欲しい。 ・初めての学校生活で不安を抱えて入学してくる生徒への指導は困難である。先生方が親身にご指導されていることに敬意を表します。 ・基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、自己管理能力の育成に今後も取り組んで欲しい。 ・生徒によりそい我が事のように接してほしい。 						
行事・HR活動	学校行事は生徒にとって楽しく、充実したものにさせることができた	A	A	生徒会活動・諸行事を通じ、連帯感・成就感・帰属意識を高め、他者と関わる力が育成されるよう工夫改善を図る。	A	A	A
	自分のクラスに満足できるHR活動をさせることができた	A	A				
	コロナ禍でも感染防止に努め、生徒の思い出に残る行事を実施できた	A	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校まで劣等感を持っていた生徒も多いと思うので、様々な行事で達成感と自信を持たせるよう努めていただきたい。 ・言葉使いやマナーを講話や外部指導などで、コミュニケーション能力を身につけ、社会性を養い、先生方や生徒間の総理解につなげ、学校行事やHR活動が充実されることを願う。 ・生徒の自立した活動に対して今後も取り組んでください。 						
総合的な探究・その他	総合的な探究で自分を見つめ直させ参加意欲も向上させることができた	B	A	各種講演会で多くの考えに触れさせ他者の考えを理解する力を育成すると共に、自ら課題を見つけ探究する力を育成するよう充実に向けていく。	A	A	A
	総合的な探究で、自分の将来の夢や目標を見つけさせることができた	B	B				
	各種講演会は、生徒にとって参考となる講演にすることができた	A	A				
	資格取得講習は充実したものにすることができた	B	S				

令和5年度 学校関係者評価書

評価者の
意見等

- ・資格取得は生徒の自信にもつながる。検定試験に向けて更なる指導の工夫を願う。
- ・生徒が積極的に進路選択し、目標が確立でき取り組むことができるように願う。
- ・多様化する現代のなか視野を広げる取組は大事です。